

事業シート（概要説明書）						
仕分対象事業名（個別事業名）		緑化啓発に関する業務委託				
中事業名		緑化啓発事業	担当部・課名	景観部みどり課		
総合計画上の位置付け（分野名）		みどり	担当名	みどり担当		
事業開始年度	昭和58年度	根拠法令	鎌倉市緑のレンジャー等実施要綱/グリーンバンク実施要領			
実施方法	直接実施					
	業務委託又は指定管理（委託先又は指定管理者：（財）鎌倉市公園協会）					
	補助金〔直接・間接〕（補助先： 実施主体： ）					
	貸付（貸付先： ） その他（ ）					
事業概要	目的 （何のために）	緑を保全、創造し質の高い快適な緑の環境づくりを進めるには、市民と連携した事業展開が不可欠。緑の学校、緑のレンジャー等の講座、体験学習等を通じ、緑の知識の普及やボランティアリーダーの養成を行う。グリーンバンク事業により庭木等の再活用を図り、緑豊かなまちづくりを進めるとともに、樹木等の大切さを再認識していただく。				
	対象 （誰・何を対象に）	市民を対象として、四季を通じた講座、実習等を開催し季節に応じた植物等の知識、管理作業の内容を習得していただくことにより、緑化推進団体の育成や緑化知識の普及、緑化意識の高揚に努めている。 市民を対象として不要となった庭木等の斡旋を行っている。				
	事業内容 （手段、手法など）	平成19年度までは直接実施、20年度から業務を委託しみどり課職員を1名減とした。 緑の学校・・・10回開催 緑の概要、鎌倉市の緑の現状等の講座、自然観察会等の実施による学習 緑のレンジャー・・・Jr：11回開催、Sr：11回開催、Sr自主活動：22回実施 ・ジュニアレンジャー 自然観察、野鳥の巣箱作り、公園の管理作業等の実習 ・シニアレンジャー 森林の働き等の講座、管理作業等の実習 ・自主活動グループ 公園等の管理作業活動 地域緑化指導者講習会・・・1回 緑の学校0B、緑のレンジャーSr0Bに対するブラッシュアップ研修、情報交換。 グリーンバンク・・・ホームページによる樹木の登録（随時）、苗圃管理（2回）				
	事業の必要性	森林の生産機能がなくなった現在、土地所有者にとって管理費が大きな負担となり、市内にも放置された森林が多く見られる。質の高い快適な緑の環境づくりを進めるためには、市、土地所有者（市も含む）と緑の恩恵を受けている市民が連携し保全、管理等を行う必要がある。 樹木を大切にし緑豊かな市街地環境を創造するためには、庭木等の再活用も重要である。				
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数	
	事業費	4,269 千円	}	職員構成		平均人件費 ×従事職員数
	人件費	1,830 千円		担当正職員	1,830 千円	0.2 人
	総計	6,099 千円		臨時職員他	千円	人
事業費 （財源内訳・ 単位千円）	年度	総額	補助対象事業の全体経費に 対する負担(支出)割合	平成22年度予算の財源内訳		
	H19(決算)	1,829	-	国補助金	0	
	H20(決算)	4,500	-	県補助金	0	
	H21(決算見込)	4,500	-	起債	0	
	H22(予算)	4,269	-	一般財源	4,269	
平成22年度 事業費内訳	委託料（内訳） ・緑の学校（講師謝礼金180千円 事務費40千円 人件費232千円） ・緑のレンジャー（講師謝礼金930千円 事務費210千円 人件費1,768千円） ・グリーンバンク（事務費50千円 人件費512千円） ・他保険料等（347千円） 合計 4,269千円					

活動実績	【活動指標名】 / 年度実績・評価	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	緑の学校等	回	10	11	11
	緑のレンジャー（ジュニア・シニア・自主活動）	回	42	40	43
	苗圃管理回数	回	3	3	3
単位当りコスト （事業費/活動指標）	事業費 / 講座等開催数	千円	33	83	79
成果目標 （現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す）	<p>緑の学校、緑のレンジャー等の講座を実施することにより、緑に関する専門的な知識や技術を持つ、環境づくりのリーダーとなる人材の育成を図り、また、これらの人材や団体が活躍できる場を提供することにより質の高い緑の環境づくりを進める。</p> <p>（成果実績）講座修了者による公園内での樹名板設置、樹木の剪定等のボランティア活動。公園の整備、近郊緑地保全区域等の指定に際し自然環境調査の実施、専門的知識を有する方々による講座講師等としての行進育成。緑化推進団体等の組織内での、ボランティアリーダーとしての地域住民と連携した身近な公園緑地の管理等。</p> <p>グリーンバンク制度により不要となった樹木の情報、必要としている樹木の情報を提供することにより、緑化を推進すると共に緑の大切さの啓発を図る。</p>				
成果実績 （成果指標の目標達成状況等）	事業ごとの成果実績	単位	H19年度	H20年度	H21年度
	緑の学校延べ参加人数	人	185	83	73
	緑のレンジャー延べ参加人数	人	794	554	497
	グリーンバンク成立件数	件	9	0	0
事業の自己評価 （今後の事業の方向性、課題等）	<p>講座修了者による地域の緑に関する種々の活動等、市民との連携による質の高い緑の環境づくりが着実に進展している。近年講座受講者が減少傾向にあることから、委託先とも十分な協議を行い、より魅力的な講座の開催、市民への周知等を図る必要がある。</p> <p>グリーンバンク事業は、提供を受けた樹木を市が直接、または苗圃を中継し希望者に配布していたが、事業の委託化に際し制度を見直し、インターネット上での斡旋制度とした。制度変更後の成立率は0となっているため制度設計等の見直しを検討する必要がある。</p>				
比較参考値 （他自治体での類似事業の例など）					
特記事項 （事業の沿革等）	<p>緑の学校（S58年～） 受講者総数1,324人、延べ受講者数11,999人 緑のレンジャー ジュニア（H6年～） 受講者総数 586人 シニア（H8年～） 受講者総数 312人 シニア自主活動（H10～） 延べ活動者数4,194人 地域緑化指導者の育成（S60年～）延べ受講者数915人 グリーンバンク（S60年～）受入310件、2,646本 払出647件、2,482本</p>				